

冊 サンプルズだより



No.83 2018.1.15

発行：社会福祉法人サンフレンズ

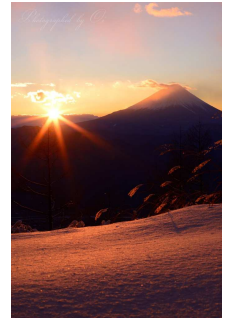
編集：法人事務局長 菱木幸治

〒167-0023 杉並区上井草 3-33-10

TEL：03-3394-9833

MAIL：kamiigusa@3friends.or.jp

WEB：[サンフレンズ](#)



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。日頃より、社会福祉法人サンフレンズの運営に対し、ご支援を賜り心よりお礼申し上げます。皆様方のお力添えをもちまして、無事に新春を迎えることができました。

私どもサンフレンズは、昨年よりいくつかの新しい局面を迎える準備を始めました。具体的には、ふれあいの家事業の利用者の減少や介護保険報酬改正による介護報酬の改定などによる法人経営環境の変化への対応です。ふれあいの家事業については、サンフレンズ上井草拠点での新事業の立ち上げを計画しました。上井草拠点は敷地も広く、駅にも近く立地に恵まれています。相談からお亡くなりになるまで、地域住民が在宅もしくは施設で暮らしつづることを選択できるサービス提供を目指して、上井草ふれあいの家の「小規模多機能型居宅介護」への改修の公募申請を行いました。又、他のふれあいの家に関しましても、昨年度より各事業所の運営環境を把握しながら、来年以降の運営について、経営判断の根拠となる情報収集をすすめております。

当法人は、誰もが住み慣れた地域で生活を継続するために、福祉サービスの推進及び提供を法人の目標にしております。特に、サービス提供においては、今後の労働人口減社会の中で、優れた人材をどう確保し、その人材をどう育成していくかが大きな課題となっています。介護を志す職員が、一生働き続けられる「魅力のある職場」づくりのために、スキルアップ、キャリアパスを目的とした人事評価制度の適切な運用を来年度からスタートする予定です。キャリアパスについては、昨年より「介護職員初任者研修」を開校しております。現在は法人職員向けですが、次年度以降は地域区民、地域の関係機関等にも、枠を広げていきます。

介護保険の縮小が進む中で、サンフレンズは小地域単位で住民の意見を聞きながら介護保険以外の新たな事業の創造を再構築する時期に直面しています。

2025 年問題と言われている、大都市における空き家、一人暮らし、老老介護、社会的孤立という社会問題に対して、サンフレンズは介護保険以外に何をやるのか。新たな収入源の確保につながるような福祉サービスの構築を、職員との意見交換や他法人の先行事例などを学びながら、急ぎ判断決定し取り組んでいきます。

この一年の決意を申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



社会福祉法人サンフレンズ 理事長 安藤 雄太



ハラスメント防止研修を行いました

サンフレンズでは、法人の基本理念である人権尊重（「できるかぎり自由に」「どこまでも対等に」「他者への思いを生かし合う」）を基調とした民主的運営に努めています。

昨年度より、法人の理念に基づき、職員の働きやすい職場環境を実現することを目的として、ハラスメント防止委員会を立ち上げました。この委員会は、ハラスメントの未然防止を図るとともに、ハラスメントが発生した場合に迅速な解決を図ることを目的としています。

今回、サンフレンズの職員へのハラスメント防止に対しての意識向上を目指して全8回、6事業所を巡ってハラスメント防止研修を行いました。

研修をとおして、施設の職員全員が気持ちを1つにして、まずは的を絞ったいくつかの言葉かけの改善から始め、職場内の雰囲気を変えていくこと、そして職場内で不適切な言葉かけへの違和感を大切にして取り組みを進めていくことを参加者全員で共有しました。



和田ふれあいの家



上井草園



松ノ木ふれあいの家



和泉ふれあいの家

「困ったときのSOS」理事長小暮久美子さんからのご挨拶



サンフレンズと事業提携をしている『一般社団法人 困ったときの SOS』の代表小暮久美子さんから新年のご挨拶と今年の抱負を戴きましたのでご紹介いたします。

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

昨年を振り返ってみて、当「困ったときの SOS」事業の根幹から、いつもサンフレンズによりかかっていたような1年でした。お互いにこの地区の社会貢献活動を行う者同士、今後私たちも上井草園のお力になれるような活動ができるようになりたいと思っております。

さて、昨年、日本生命財団の講演「我が事・丸ごとー地域共生社会の実現」を聴講してきました。社会の少子高齢化がますます進み、国民の生活状況は大きく変化し、今後の私たちの日々は以前のような明るさが見えなくなっているような感じがいたします。

私たちの小さな活動でも、その実態を感じることがあります。

日常生活上の困りごとでは、食事面の支援が多いのですが、訪問先は独居生活で身体の不調があり、風呂に入れない、ごみ出しも大変、トイレ掃除、洗濯、銀行の用事が果たせない、キッチンへ行って水一杯汲んでくるのさえ容易ではない生活を余儀なくされている人たちが多くいらっしゃいます。その姿を伺い知ると、その方のあらゆることに対応できていない事実ばかりで、私たちのやっていることは上っ面の支援でしかないのかという煩悶はしばしばです。

それでもボランティアします！と名乗って活動に参加してくれる仲間がいてくれる事が大きな力になっています。私たち自身も徐々に年齢を重ね、今では力仕事や高い場所での依頼を受けた仕事はできなくなりつつあります。

講演の中で、「地域に住む人すべて、支え手側と受け手側に分かれるのではなく、誰でもが役割を持ち、活躍できる社会をつくることが喫緊の課題である」と語っています。この地域で活動している私たちはこの言葉に大きく揺さぶられています。

今後、本当に何が求められているのか、原点に戻って考えてみたいと思っています。自分たちの姿を変えるために住民の意見を広く深く聞き、上井草園も含め、施設入所の方も地域の一員として参加していただけるように、ボランティアさんたちと共に取り組めることからやっていきたいと思っています。

一般社団法人 困ったときの SOS 理事長 小暮久美子

『一般社団法人 困ったときの SOS』は、この地域にお住まいの一人ひとりが今の生活をいつまでも、穏やかに続けられることを願い、安心して日々の生活を過ごせるようお手伝いをしている団体です。ご興味がある方、詳細を知りたい方は、下記へお問い合わせください。

【活動内容】:

- ◆困ったときの SOS 支援
- ◆SOS ふれあいサロン

【活動日】: 月曜日～金曜日 9時～17時

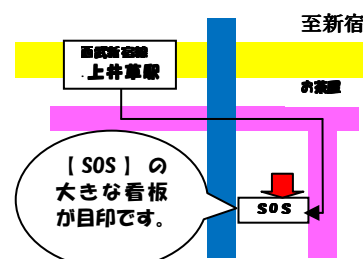
【活動区域】: 事業所近隣

新住所: ☎167-0023

東京都杉並区上井草 2-35-12

藤原ビル 2F

☎: 03-5303-4246



サンフレンズの取組み

その1 インスタグラム始めました！

フォローよろしくお願いします



Instagram
はじめました。

<https://www.instagram.com/3friendsjimukyoku/>

話題のInstagram、サンフレンズも始めました！様々な媒体を通じて、サンフレンズの活動を皆様にお知らせできればと思っております。よかったら、覗いてみて頂き、フォローお願いします！ ↓QRコードはこちらから



その2 介護職員初任者研修始まっています！

サンフレンズでは11月12日（日）から毎週日曜日、3月11日までの期間で介護職員初任者研修を始めました。資格を持っていない方でも入職してから資格を取得できるようになりました。講師はサンフレンズの職員が担当しています。座学・実技を交えながら介護の基礎を楽しく学んでいます。



実技研修の一コマ

法人への寄付金および物品等を賜り、厚く御礼申しあげます

2017年7月1日から2017年12月31日までにご寄付をいただいた順に掲載しています。

【寄付金】 大西久江様、齋藤泰一様、新保照枝様、八木澤瑞穂様、平林博幸様、岡本波津子様、栗田山次様、栗田サダ子様、松尾廣高様、編物クラブ様、森山千賀子様、吉田啓造様、吉田孝仁様、加藤晴康様、肝付絹子様、立教女学院G F S様、窪田憲子様、匿名希望8名様

【寄付物品】 橘川通子様、梅田照子様、中川久美様、大塚英純様、結城武子様、松本幸子様、匿名希望15名様

寄付物品は未使用のみでお願い致します。

募金への協力についての報告

【赤い羽根共同募金】 募金額 981円

【歳末たすけ合い募金】 募金額 781円

上記を杉並区社会福祉協議会（東京都共同募金会杉並地区協力会）にお渡ししました。

皆様の温かいご協力に感謝申し上げます。



赤い羽根
共同募金